


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2016年07月22日	ジカウイルス感染症の発生状況（更新23）★
ヨーロッパ	2016年07月21日	腸管出血性大腸菌の発生について－イギリス

★【2016年07月22日更新 ジカウイルス感染症の発生状況（更新23）】

2016年7月21日付けで WHO より発表されたジカウイルス感染症（いわゆるジカ熱）の発生状況に関する報告です。ジカウイルス感染症の発生状況は以下のとおりです。

【概要】＊抜粋

- 2007年以降、2016年7月20日までに、合計65の国と地域で蚊の媒介によるジカウイルスの感染伝播の証拠が報告されています（2015年以降、合計62の国と地域で蚊の媒介によるジカウイルスの感染伝播の証拠が報告されています）。蚊の媒介による感染伝播の内訳は以下のとおりです。
 - ・48の国と地域で、2015年以降に初めてジカウイルスの流行発生が発生しました。
 - ・2016年に、国内感染の高い可能性、又は蚊の媒介によるジカウイルスの感染伝播の証拠が4か国（インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム）から報告されました。
 - ・13の国と地域では、2015年までに局所での蚊の媒介によるジカウイルスの感染の証拠が報告されていました。しかし、これらの国では、2016年には感染伝播が報告されていないか、流行は終息しています。
- 11か国で、ジカウイルスの人から人への感染伝播が起きていた証拠が報告されました。感染経路は性交渉によるとみられています。
- 2016年7月15日に、初めて、女性から男性への性交渉によるジカウイルスへの感染が経路として記録された患者がアメリカ合衆国から報告されました。
- 2016年7月20日までに、アメリカ疾病対策センターから、先天性障害のあった新生児9例とジカウイルスへの感染の可能性のある検査結果をもつ先天性障害による流産6例が報告されました。
- 2016年2月に、WHO によって開始された感染対策に対する世界戦略の基本骨格には調査活動、感染対策、研究が含まれています。この国際的な公衆衛生上の緊急事態に対処するために WHO と国内外の加盟国や支援組織が共同で行っている主な活動のいくつかは、2016年5月27日に中間報告が公表されています。2016年7月から2017年12月までの改訂された戦略が、6月17日に公表されました。
- WHO は、ジカウイルスの発生状況の中でのさまざまな話題に関する新たな助言や情報を作成しています（<http://www.who.int/csr/resources/publications/zika/en/>）。企業を支援し、計画的なリスクの情報伝達、地域活動を支援するために、WHO は、最新の資料、ニュースおよび情報源を公表し、オンラインで入手できるようにしています（<http://www.who.int/risk-communication/zika-virus/en/>）。